

住宅改修業者と連携し絵画リース先拡大

エフマイナー 森田 博和社長

インターネット上で絵画のリースサービスを展開するエフマイナーは、今月末にも住宅リノベーション事業者を介した絵画のリースを始める。既存の建物に大規模な改修工事を行い、性能を向上させて価値を高める「リノベーション」を利用してリース先の拡大を狙う。同時にリース作品数を増やすため、東京都内の画廊にリースサービスへの参加を働き掛けていく。サービス内容を早期に充実させ、3年後に5億円としている売り上げ目標の前倒しを狙う。

——住宅リノベーション事業者と組む理由は

「ネットではデザイン会社や弁護士事務所など事業所の利用が多く、個人の利用が少ない。住宅リノベーション事業者は個人向け物件の賃貸をやっており、事業者のお客さんに『家の壁に絵画はどうですか』とアピールできる。住宅リノベーション事業者としても他の賃貸物件



との差別化に効果的だ。通常のリースは1作品につき月額5000円程度だが、関心を持ってもらえるよう特別プランを用意したい」

——現在リースできる作品数はどれくらいか

「若手アーティストの現代美術作品を中心に200作品は超えている。作品の質にこだわっているせいか、数はまだまだ少ない。ただ、自分たちで作品を集

もりた・ひろかず 東大大学院修了。2005年経済産業省入省。内閣官房宇宙開発戦略本部事務局出向などを経て、13年7月に経産省を退職。同年8月、エフマイナーを創業。34歳。東京都出身。

めるのは限界があるので、今、都内の10画廊ほどにリース可能な作品の登録を呼び掛けている。われわれは自社のギャラリーを持ち、企画展を開催するなど画廊としての顔もあり、仲間と見てもらえる。手応えはある。複数の画廊の参加が実現すれば、6月には1000作品まで増えたと見込んでいる」

——リースサービスは昨年末からだが、順調か

「リースの利用は月を追うごとに増えている。足元では、平均して40作品程度がリースされている。リースだけでなく、購入につながったケースもあった。プレゼントに利用した人もいた。リース先を見ていると、未知の事業分野に挑戦している比較的新しい会社からの評判がいい。社内のちょっとした変化を楽しんでいるようだ。絵画でオフィスを明るく心地よい雰囲気にしたいという需要は一定数あると改めて感じる」

——一般的に価値判断が難しい絵画もリース形式だとハード

ルが低くなる

「飾る作品を毎月変えることもできる。周囲からは病院や老人ホームでもリースサービスを利用してもらえるのではないかといわれる。チャンスはあるので、サービスを充実させたい。具体的には3D（三次元）技術を取り入れる。パソコン画面上に部屋空間を映し出し、そこにデジタル画像のリース作品を飾り、実際のリース時のイメージを付けてもらう。よりリースサービスを利用しやすくなる」

(佐藤克史)

■会社概要

- ▷本社＝東京都渋谷区恵比寿南1-14-12 ルソレイユ3-303
- ▷設立＝2013年8月
- ▷資本金＝1500万円
- ▷事業内容＝絵画ギャラリー運営、絵画リースなど